

文化財歴史教室が開催されました

3月27日（日）海事記念館2階プラネタリウム室で「文化財歴史教室」が行われました。学芸員の日ごろの調査・研究の成果発表の場である文化財歴史教室も今回で3回目を迎えました。

今回は「近世・近代のアツケシへの道のり」（熊崎農夫博文化財係長）「第二次幕領期の厚岸～諸資料に見る御用所の職務と職制」（曾原卓己学芸員）という発表内容でした。今回もたくさんの方に来ていただきまして、ありがとうございました。学芸員は様々な仕事をしていますが、その中でも調査・研究はとても重要な仕事ですので、今以上に調査・研究に励みたいと思います。



郷土館・太田屯田開拓記念館の資料について①

今年も4月16日に開館しました郷土館と太田屯田開拓記念館。今回からこの2館の資料を紹介していきたいと思えます。

<郷土館>

●下田ノ沢式土器



町内の下田ノ沢遺跡（神岩竪穴群）で発見された縄文時代を代表する土器です。

<太田屯田開拓記念館>

●上杉謙信像



上杉謙信は越後（現在の新潟県）を支配していた戦国時代を代表する戦国武将です。

江戸時代上杉氏は米沢藩主となり、明治維新を迎えました。